

## 非違行為防止職員研修会報告

1 テーマ 「私たちは一人で生きている訳ではありません」

2 講師 長野県警察本部 生活安全部 人身安全・少年課  
スクールサポーター 志摩 正巳 様

3 日時 令和2年12月21日（月） 16:00～17:00

4 場所 上田市立真田中学校 さくらホール（生徒棟2F西）

5 内容

- (1) 非違行為に対する認識は・・・「非違行為は誰でも犯してしまう可能性がある」
- (2) 非違行為防止のために・・・「社会統制理論」から
- (3) 「あかさたなはまやらわ」の法則

6 参加者 真田中学校 教職員 20人

7 研修からの学び

- (1) 非違行為を見聞きしたときに、「自分も間違っただ行動をするかもしれない」「自分も弱い人間である」というような自覚・自戒することが大切であるとお話ししていただいた。  
誰でも困っていることはたくさんあるのだから仲間に相談したり相談を受けたりする。仲間として当たり前のコミュニケーションや互いを思いやる行動ができる関係性をよりよくしていきたい。非違行為防止の第一歩。
- (2) 「家庭や社会との結びつきを強化することで、犯罪を防止する」についてお話しをいただいた。  
信用失墜行為によって、自分が社会的な制裁を受けることは勿論、それだけにとどまらず、自分の周りの人たちも不幸にしてしまうことを自覚している。  
ただ、信用を失わないようにと考えて行動するのではなく、日頃から自覚と責任のある行動を積み重ねていくことが自分と周りの人たちとの結びつきを強めていくとあらためて感じた。
- (3) 【あ】「ありがとう」は何度言っても良いこと 【い】「忙しい」と言う人は頼りにならないこと～中略～【わ】わかっているのとできるのは違うこと のお話しをいただいた。  
ものの見方や考え方は、自分の行動に大きく影響を与える。見識を広げ、高めていくことで自身を磨いていきたい。